

ずしスポ推だより

- 第16号 -

令和2年度総会報告 新会長に松井氏

予定されていた令和2年度、逗子市スポーツ推進委員協議会総会が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催に切り替えられ、令和元年度事業・決算報告、令和2年度の事業計画・予算が承認されました。また、相川時雄氏が退任し、松井弘喜氏が第七代会長に選任されました。その他の役員・委員名簿は4面に掲載しています。

就任のあいさつ



非常事態宣言下に終わった令和元年度、この時期に始まる令和2年度です。

残念ながら実行できなかつた計画がいくつかありましたが、皆様のご協力でおむね無事に終了しました。

退任された皆様、ご苦勞様でした。新しいメンバーが加わります。今年はいざばらく難しい対応を余儀なくされますが、皆さんの協力を得て一歩ずつ進めていきます。

(第七代会長 松井 弘喜)

令和元年の活動

関東スポーツ推進委員大会

六月七日(金)埼玉県大宮ソニックシティホールの大ホールにて、大会テーマを、「彩の国から地域スポーツで社会の絆を！〜みんなで する・みる・ささえる環境づくりを」として開催され、相川会長・福本の二名が出席しました。

午前中は、アトラクションで、城西大学付属川越高等学校・城西川越中学校和太鼓クラブの演奏と西武台高等学校バトント部による演技に魅了されました。

午後から開会式に続き、関東スポーツ推進委員会表彰式に移り、関東から86名(神奈川県から24名)の委員が功勞者表彰を受賞し、私もその中の一人として頂き、大変嬉しく感謝申し上げます。

表彰式後は、基調講演 講師は、酒井俊幸氏(東洋大学陸上部長距離部門監督)の演題「その1秒をけずりだせ」で、箱根駅伝の様子を熱弁されました。

さて、昨今「新型コロナウイルス」が蔓延し国内外で騒がれています。その影響でスポーツ界でも各イベント(大会等)の中止・休止・延期等をしているところだす。この文面が「ずしスポ推だより」に掲載される頃には、終息されている事を祈りたいと思います。



(池子 福本 藤彦)

第60回全国スポーツ推進委員研究協議会

十一月十四日(木)・十五日(金)の二日間、三重県津市で開催されました。

開会式で全国スポーツ推進委員連合の斉藤会長が挨拶の中で「人生はスポーツと共に」と話されていました。少子高齢化社会が進む中で、いつまでも健康でスポーツを楽しむ人生を送ることが出来る様、我々推進委員も地域に協力して行く事が大切だと感じました。

引き続き表彰式が開催され、永年に亘り地域のスポーツに尽力された方、スポーツ推進委員を続けている方々への表彰が行われました。文部科学大臣表彰85名、優良団体表彰39団体、スポーツ推進委員功勞者表彰184名、30年勤続スポーツ推進委員表彰355名と数多くの人達が受賞され、私も功勞者表彰を受賞しました。



伊勢神宮・二見浦なども見学、有意義な大会参加でした

永年に亘りスポーツ推進委員を続けてこられたのも、逗子市スポーツ推進委員協議会の皆様のご指導、ご協力によるものと感謝申し上げます。ありがとうございました。

(沼間 平井 規之)

県スポーツ推進委員研修会

十一月二十三日(祝)に、横浜ラポール(障害者スポーツ文化センター)で開催され180名の参加がありました。

2階には、ボウリング場も併設されており、さすがに福祉に手厚い横浜市と感じました。

研修は、「障害のある方とスポーツをするために」と題した講演、及び実技として、ボッチャ・車椅子バスケットボールを4グループに分かれて行い、専用の車椅子は、15台も用意されていました。

ボッチャで感じた事は、ゲーム及び審判のルールは殆どの方が理解しており今後の研修で、ボッチャ専門家よりゲームを通しての戦術講義も必要ではないかと思いました。

今回、松井副会長と私の2名参加となりましたが、神奈川県の方々の参加が、今後たくさんの方々に参加をして頂きたいと思いました。(小坪 高木 彰)

実技研修会

六月十五日(土)救命救急の実技研修会が逗子消防隊員の指導のもと実施されました。大人のマネキンに対して声かけから始め、意識確認・心臓マッサージ・AEDの使用法の説明を受けた後に隊員による実演を見ました。推進委員も二人一組になり、心臓マッサージ担当とAED担当に分かれ、実際に体験しました。心臓マッサージは思ったより力が必要で、皆汗をかく程でした。

次に三角巾の使用法の指導を受けました。各自、自分の手で三角巾をたたんだり、結んだり、返したり。なかなか完成できない人も繰り返しやることで「出来た!」と笑顔が見られました。



こんなもので良いかな...



私たちは良く出来ました〜

その後メインアリーナへ移動し、ボッチャ審判の講習会も実施されました。バドミントンのコートを利用してテープを

貼り、実際のゲームを通し交替で審判を体験しました。ボッチャのルールは細かい部分もありますが「分かり易いルールにしましょう」とルールの統一の確認などがありました。26名の参加でした。

(沼間 児玉 豊子)

家族交流会

八月二十五日(日)逗子海岸の海の家にて家族親睦のBBQが行われました。

おいしい食べ物と楽しいお話、和気あいあいとした雰囲気でした。夕暮れ時夕焼けがとってもきれいで、逗子ならではの景色の中、皆で焼いたお肉はまた格別でした。

日が暮れて、子供たちは海辺で花火をし、また夏休みの思い出を一つ増やすことができました。世代、性別を超えて、いろいろな方とお話することができ、楽しい一時を過ごすことができました。皆様ありがとうございました。

(小坪 神戸委員の家族 永井 初代)



楽しかったでーす

体力テスト会と未病キャラバン

十月十四日(体育の日) 逗子アリーナで毎年行われている体力テスト会。今

年も神奈川県未病キャラバンが参加しました。

当日は、小雨と台風19号の後の為か、参加人数は29名と例年に比べやや少なめでした。参加された方は、一般の方・うみかぜクラブの方を通して、年配の方が多く、毎年参加される方が結果を見て「体力の維持ができた」「握力がなくなった」等感想を述べられていました。

市長、体協会長も参加して、ご自身の体力を確認されていました。

また、未病キャラバンでは、血管年齢測定で実年齢より若い数値が出て、喜ばれる方も多くいました。

これからも、PRやイベント等の工夫をして、さらに多くの方に参加していただける体力テスト



(池子OB 北島 惇夫)

会にしていきたいですし、OBとして今後とも皆さんと一緒にやっていきたいと思います。



桐ヶ谷市長も参加されました(反復飛び)

横ニブロック研修会

十一月二日(土)横須賀市が担当で、久里浜にある横須賀市南体育館で行われました。逗子からは事務局の鈴木さんを入れて13名が参加、スリーアイズ、ふらばーのバレーボール、ボッチャの3種目を行いました。

「スリーアイズ」は1〜9番に分かれた3×3のマス目にボールを入れて得点を競うスポーツです。マス目に入れる難しさと並べることの難しさがあり、高得点を狙うために頭を使いながら楽しくプレーをしました。

「ふらばーのバレーボール」は柔らかく不規則な円形をしたボールをバレーボールと同じようにネットを挟んでボールを返しあうスポーツです。必ずワンバウンドさせたボールを拾って相手コートに返すことがルール。不規則な形のボールなのでワンバウンドした後にどこへ跳ねるかが予想できずサバイブエースで得点するといった感じでした。

「ボッチャ」は昨年も逗子アリーナで逗子が担当で研修を行っていましたのでスムーズに競技ができていました。逗子のチームが一番強かったと思います。

東京オリンピック、パラリンピックで行われる色んなスポーツを、たくさん体験できたらと思います。

(新宿 前田 有希乃)

逗子市民まつり

& スポーツの祭典

十月二十日(日) 桐ヶ谷市長のアリーナでのスポーツの祭典のキックオフで始まりそのままノルディックウォークで市民まつりの会場に乗り込み、市民まつりの開催宣言・こんな風に始まった市民まつり & スポーツの祭典でした。

市の財政危機でひよんなことから異質の大きな2つのイベントが同時に開催されて2回目となりました。前回は同時開催となりましたが、イベントの一体感という点では不満の残るものでした。

今年はスタンプリリーという共通のイベントでつながりスポーツランドと一緒に運動するなど交流が出来ました。

私たちスポーツ推進委員は、従来のニュースポーツの紹介に加え、新たな試みのキッズスペースの管理や健康吹き矢などを担当し、42名の参加者は昼食をとる暇もなく汗だくで走り回っていました。



市民まつり会場へと出発です

市民まつりなのにお店を見ている時間など取れない状態で参加していただいた皆様には申し訳ない状態でした。でも、おかげさまで二千数百人という参加者数を記録し、全員が笑顔でアリーナを後にいたしました。

(新宿 松井 弘喜)



的をよーく狙って・・・

第67回市内一周駅伝競走大会

一月十二日(日) 令和初の「逗子市内駅伝競技大会」が、第一運動公園をスタートとゴールとした6区間27.6kmのコースで開催されました。今年は地域対抗の部13チーム、団体対抗の部27チームの合計40チームが、沿道の声援を受けて市内を駆け抜けました。

我が小坪チームは、昨年は主力選手を欠いたこともあり4位でしたが、今年は優勝を奪還する為に皆燃えていました。

レースは昨年優勝の池子チームが3区まで2位の小坪チームに50秒の差をつけて独走していましたが、4区で安澤駿空選手が区間新の爆走で首位を奪うと、5区の大久保選手、6区の安澤大地選手も手を緩めることなく快走し、2位の池子チームに7分32秒の大差をつけて見事優勝しました。またBチームも6位入賞と健闘しました。

小坪チームは、中学2年生から55歳のベテランまで、幅広い年代の選手が在籍していますが、皆毎年駅伝を目標の一つとして練習しているのが、強さの要因だと思います。来年もまたこのメンバーで、連覇を目指して頑張りたいと思います。

最後に本大会の運営に尽力された全ての皆様に、感謝いたします。

(小坪 飯田 博茂)



小坪チームの皆さん、おめでとうございます

※十二月七日(土)のオリエンテーリングは雨天のため中止となりました。
※三月八日のポッチャ大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止になりました。

県スポーツ推進委員会大会

逗子スポーツ推進委員5名の表彰

二月二日(日)川崎市麻生市民館にて開催され、逗子のスポーツ推進委員として10年間活動した飯田さん、澤さん、土屋さん、中出さん、わたくし歌田の5名が功労者として神奈川県から表彰されました。

式典では、ゆりがおか児童合唱団の「故郷」の美しい合唱、桐光学園ダンス部の総勢150人による庄巻のダンスや、アテネオリンピック柔道金メダリスト鈴木桂治さんの講演がありました。

鈴木さんは井上康生さんと同じ世代で、井上選手が怪我で試合に出場出来ない時期に世界選手権や全日本でいくつ優勝しても、井上選手の存在を超えられず、アテネでは希望する100kg級には選ばれることはなく、100kg超級で金メダルを取っても晴れない気持ちだったそうです。それをバネにして、今は全日本のコーチとして重量級金メダルでしか柔道日本の本当の復活には成らないと云う気持ちで頑張っているとのことでした。

さて、スポーツ推進委員についてですが、逗子の各スポーツ団体の代表として技術指導やスポーツの市民への浸透のために活動しています。また、その活動は秋に行われるスポーツの祭典、体力テスト会、オリエンテーリング、市内一周駅伝、ボッチャの普及等、幅広く多岐にわたっています。

特にボッチャは東京パラリンピックで日本はメダル候補の種目として注目されており、競技そのものの理解と、審判の育成のため、講習会を繰り返し行っています。



受賞された方々、おめでとうございます

す。逗子アリーナでボッチャを体験できる機会も多いので、より多くの市民の方々の参加をお待ちしております。

東京オリンピック開催まであと5ヶ月を切っております。オリンピックは当然日本のトップアスリートが参加いたしますが、日本スポーツ界のレベルアップは、裾野でのレベルアップがあつてこそ成り立つものだと思います。スポーツ推進委員は、その下支えとなつていきたいと思っております。

式典で、スポーツは人を変える、スポーツは社会を変える、スポーツは未来を変えろという神奈川県スポーツ局長の話もありました。正にその通り、スポーツには様々な力があります。

R2・3年度 逗子市スポーツ推進委員名簿

逗子	野崎 真生	沼間	鈴木 繁昭(常任)	久木	安藤 知侑(常任)
	反田 由佳理		平井 規之		鈴木 美枝子
	江島 博				坐間 裕子
	村田 祐子		福本 藤彦		高田 次郎
	津久井 加代子		山口 勝		松岡 俊一
桜山	岩下 晃(常任)	池子	笠原 恵子	小坪	上坪 靖子
	澤 美咲子(常任)		林 和子		宮澤 久美
	下山 安寿美		相川 時雄		飯田 博茂
	細川 進		中村 正喜		佐藤 千香(副会長)
	武藤 浩二(新任)		小南 博明(会計監査)		小野 千恵子
	伊東 やちよ		初谷 奈美子(新任)		本屋 啓一
	勝呂 勇樹		清水 勲(常任)		高木 彰(副会長)
	蒲谷 昇		浅川 尊美	新宿	土屋 敏臣
沼間	高山 啓市(会計監査)	山の根	酒井 博		神戸 幹雄(常任)
	黒川 正孝		峯尾 尚子		近藤 雅江(新任)
	田中 邦江		高橋 進吾		吉井 浩
	野添 宏次(新任)		森山 文子		御館 康成
	児玉 豊子	久木	山上 和子(会計・常任)		松井 弘喜(会長)
	高橋 妙子		宮崎 晋(新任)		竹下 志浩
	中出 和代		石渡 眞澄		前田 有希乃(常任)

逗子スポーツ推進委員はこれからも市民の皆様がスポーツ参加の一助になれば良いと思います。尽力してまいります。

(久木 歌田 州吉)



広報委員会

石渡眞澄・笠原恵子・峯尾尚子
松井弘喜・佐藤千香・高木 彰

発行／逗子市スポーツ推進委員協議会

事務所／逗子市役所 市民協働部文化スポーツ課
TEL／046-873-1111 (内線277、278)
発行責任者／松井 弘喜

編集後記



神奈川県では長い間、緊急事態宣言が続いていましたが、全国的にも新規感染者数が減り、ようやく解除されました。スポーツ推進委員が関わる行事が再開される為にも、早く新薬・ワクチンが開発され、新型コロナウイルスを恐れず生活できる日が来てほしいものです。

(N. M)